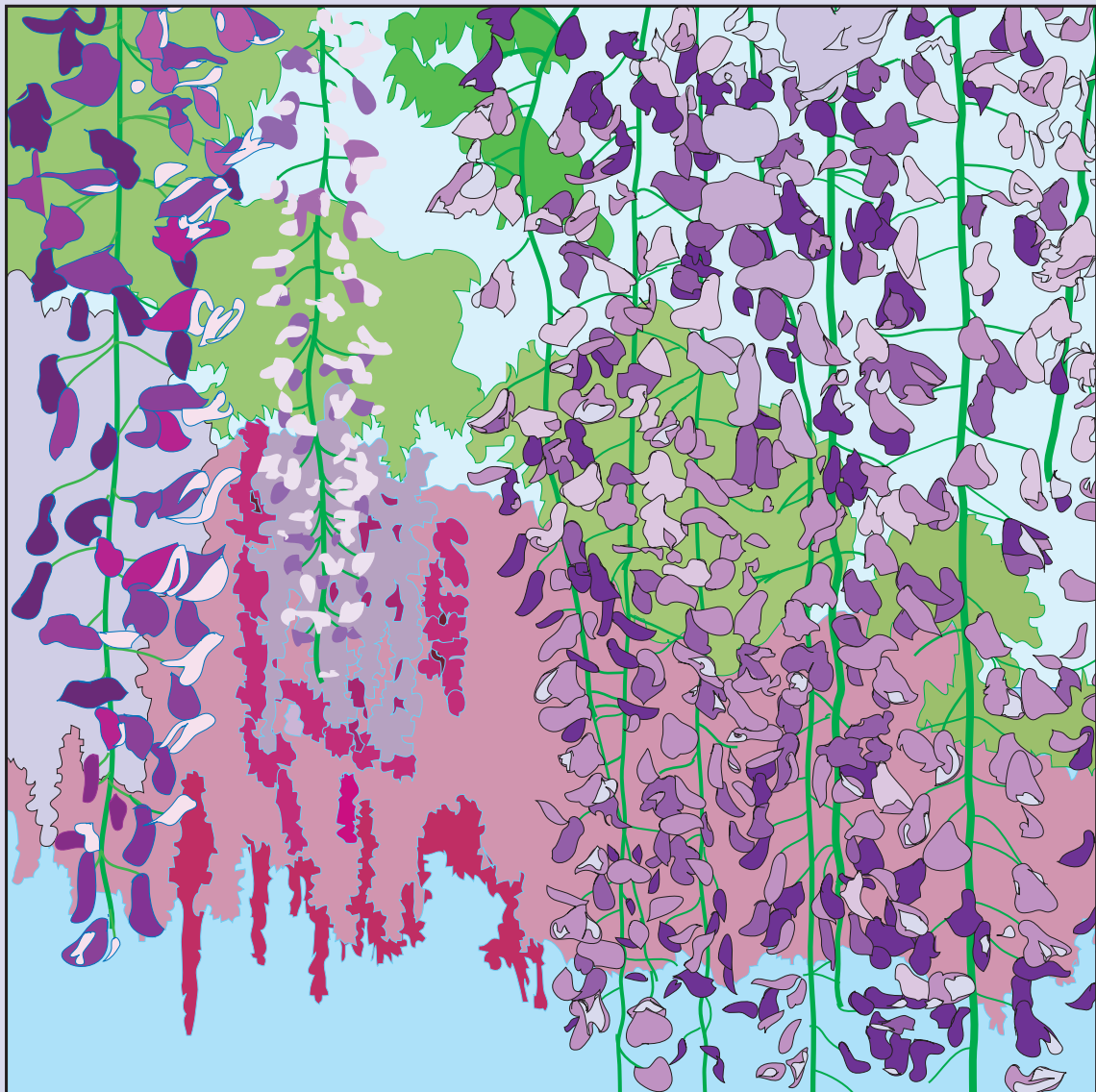


JEMIMA会報

Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

- ◆ 中国版RoHS について
- ◆ 欧州環境規制レポート (第7回)
- ◆ IEC TC45原子力計測専門員会の活動報告 (リヨン国際会議報告)
- ◆ ISO13584-501の国際取得 説明会・祝賀会 開催報告
- ◆ ISO13584-501 IS 取得にあたって
- ◆ EDI 標準化検討ワーキンググループの平成18年度活動報告
- ◆ 展示会: 「計測展2007 TOKYO」出展募集中
- ◆ 平成18年度 海外調達実態把握アンケート調査結果報告 概要
- ◆ 韓国知財現地調査報告
- ◆ 統計特集: 平成18年(暦年)の生産動向



社団法人 日本電気計測器工業会

URL <http://www.jemima.or.jp/>

2007/VOL.44.No.2

輸出管理委員会主催の「安全保障貿易管理説明会」 開催報告

このたび東西2会場で、経済産業省から講師をお招きし、安全保障貿易管理説明会を実施しましたので結果を報告します。

東京開催 日時：平成19年1月26日(金) 14：30-17：00

会場：東京都現代美術館 講堂

聴衆：130名（内訳後述）

関西開催 日時：平成19年2月9日(金) 14：30-17：00

会場：島津製作所 本社・三条工場 研修センター

聴衆：57名（内訳後述）

主催者 社団法人日本電気計測器工業会

社団法人日本分析機器工業会

（東西2会場ともに両工業会の共催）

講師（東西2会場とも）

経済産業省 貿易経済協力局

貿易管理部 安全保障貿易検査官室 渋沢 昌弘 氏

株式会社島津製作所 輸出管理室主任 米満 啓 氏



（東京会場にて）

◆今回の催しの特徴としては、次の2点が挙げられます。

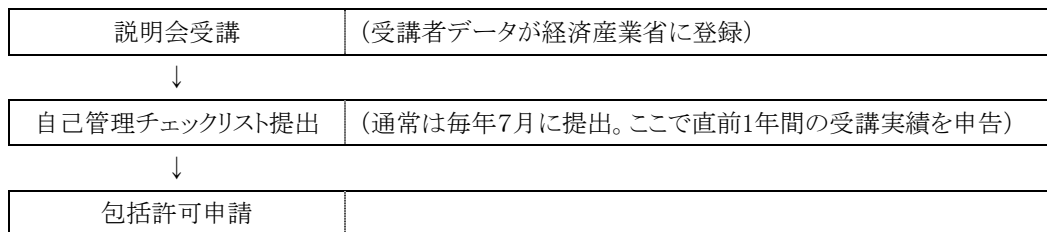
- ①経済産業省から「適格説明会」の認定を受けていること
- ②企業の輸出管理部門のみならず、経営陣も含めた広い層の聴衆の参加を得たこと

◆「輸出管理強化策」と「適格説明会」

昨年3月、経済産業省から「我が国輸出管理の強化策」が発表され、また各工業会あてで「安全保障貿易に係る輸出管理の厳正な実施」を求める要請が出されました。この要請文で**最初に強調されたのが、輸出管理の重要性を経営陣が認識してほしい**ということでした。当工業会には「当社は認識していますよ。その証拠に輸出管理部門を設けて管理をさせています。」というような反応を示される企業はあまりないと思いますが、ともあれここでの第1のポイントは、輸出管理を、担当部門丸投げではなく経営陣自らの問題としてとらえてほしいということでもあります。

「強化策」ではまた、経済産業省による**輸出管理説明会に、経営陣・営業部門も含めて参加することを要請**しています。これは単なる知識の普及を意図したものではなく、経営陣をはじめとする社内各層に、説明会を体験していただくことにより輸出管理への積極姿勢を促そうとするものと解すべきでしょう。これが所謂「適格説明会」で、包括許可を取得にあたっては、申請の前^{*1}に受講していることが要件と定められました。

*1 説明会受講から包括許可申請までの流れは、次の通りです。



◆企業にとっての「説明会」参加のメリット

もちろん、究極の目的は、**受講体験を通じて自社の輸出管理レベルを向上させる**ことにあるわけですが、目先だけをとってみても次の2つのメリットがあります。

- ①前述の通り、受講することで**包括許可を申請する資格**が生まれること
- ②コンプライアンスプログラム届出企業が毎年提出する「**企業概要報告**」で**受講実績を申告**することにより、自社の姿勢をアピールできること

◆官民それぞれ特徴の出た講義

<p>テ ー マ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全保障貿易管理(総論、制度の紹介) 経済産業省 2. 違反事例と輸出管理体制 経済産業省 3. 安全保障貿易管理の取組み(濃淡管理の意義と応用) 島津製作所

さて肝心の内容ですが、前半は経済産業省講師による理論篇の講義。安全保障貿易管理がなぜ必要なのかをマクロ(国・社会)とミクロ(個々の企業)の観点から説き起こし

規制の概要と、それを遵守するためにはどうすればよいかを、1時間強という短時間で手際よくまとめていただきました。

後半は実践篇ということで、実効ある輸出管理のための重要な手法である濃淡管理について、その必要性和応用例を、企業現場の本音満載で紹介するという内容でした。



(関西会場にて)

◆今後の展望

今回、経営陣も含め社内の各層からの参加を得たこと、また会場の熱気から、参加企業の多くに、包括許可・企業概要報告といった表面的なメリットだけでなく、全社的な輸出管理レベルを求める姿勢が伝わってきたことは、主催者にとってうれしい成果でした。

経済産業省は2007年度以降も「適格説明会」を継続していくと聞いています。

包括許可申請の有無に関わらず、毎年受講するのが企業にとっての「常識」になっていくことと思います。予防接種を受けるようなものとも言えばよいでしょうか。

わたくしたち輸出管理委員会では、こうした事情を踏まえ、これからも毎年、受講の機会を確保し、また工業会全体のレベルアップを目指して「説明会」に取り組んでいく所存です。

皆様におかれても「受講するならJEMIMAの適格説明会」と御期待いただければ幸いです。

平成18年度安全保障貿易管理説明会(東京地区)参加企業内訳

開催日：平成19年1月26日

		企業数	人数
日本電気計測器工業会会員企業	輸出管理委員会企業	18	47
	同委員会以外の企業	12	26
	小計	30	73
日本分析機器工業会会員企業	輸出管理委員会企業	9	18
	同委員会以外の企業	16	29
その他(会員企業の関係会社等)		5	10
	小計	30	57
総計		60	130

平成18年度安全保障貿易管理説明会(関西地区)参加企業内訳

開催日：平成19年2月9日

		企業数	人数
日本電気計測器工業会会員企業	輸出管理委員会企業	5	14
	同委員会以外の企業	1	1
	小計	6	15
日本分析機器工業会会員企業	輸出管理委員会企業	4	11
	同委員会以外の企業	4	17
その他(会員企業の関係会社等)		7	14
	小計	15	42
総計		21	57